

(2) 防災訓練等の実施について

【1】令和3年度犬山市総合防災訓練の計画案について

日 時

令和3年9月12日（日） 午前中

開催場所

犬山南小学校（大字橋爪字末友 28）

対 象

犬山南小学校区住民

内 容

- ① 自主防災組織の活性化
- ② 避難所運営委員会の設置の足がかりとなる取り組み
- ③ 防災知識の啓発

※今年度も、犬山南小学校での訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。来年についても、感染症の流行状況を鑑み、万全な感染症対策を行いながら、実施していく。

方針・概要

- 大災害時に重要となる、地域住民同士の助け合い、いわゆる「共助」の基盤となる「自主防災組織」の拡大及び活性化を目的とした訓練を実施。
- 学校区を対象とした事業実施により地域を越えた防災活動の定着を目指す。
- 各企業・団体の協力による啓発ブースの出展で、防災知識普啓発を行う。



R1 総合防災訓練様子
(東小学校)

【2】土砂災害に強い地域づくり活動の計画案について

日 時

令和3年6月 午前中

対象地区

入鹿地区

訓練内容

緊急避難を想定した避難訓練

※総合防災訓練同様に、令和2年度に予定していた訓練は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。次年度に繰り越し、訓練を実施予定。

方針・概要

入鹿地区においては、土砂災害に対して安全な施設（池野小学校）までの避難が困難であるため、今回の訓練では対象地区住民一人ひとりの避難先及び避難方法を再確認し、緊急時の「いのちを守る行動」につながる適切な避難行動の普及啓発を行うことを目的とする。



【土砂災害ハザードマップ】抜粋

【3】令和2年度 職員訓練の結果報告

日 時

令和2年9月13日（日） 午前中

開催場所

犬山南小学校（大字橋爪字末友28） 体育館

対 象

市職員及び地域住民

テーマ・内容

◆避難所の感染症対策訓練

- 避難所担当職員により、間仕切りや簡易ベッドを用いて感染症対策を踏まえた避難生活環境を体育館で再現。
- 感染症対策を講じた避難所の受付訓練の実施
- 職員訓練の様子を一般公開し、長期避難生活時に運営の中心となる地域住民に避難所の全体像をつかんでもらう。

参加人数

149名（市職員73名、地域住民：59名、その他17名）

成果

密な状態になりやすい避難所環境は、感染症流行時において大きな課題となっていた。今回の訓練に合わせ、飛沫防止用の間仕切りや床からの感染を防ぐ簡易ベッドを導入し、避難所担当職員の資機材の取り扱い訓練を兼ね、地域住民にも観覧・体験してもらうことで、避難生活全体のイメージ及び感染症への対策方法を把握してもらうことができた。

